

九州国際大学研究者情報

基 本 情 報

所属	法学部 法律学科	氏名	高 寄 浩 平 Takasaki Kohei
職名	助教	E-mail	ko-takasaki@law.kiu.ac.jp
		ホームページ	https://researchmap.jp/k_takasaki

■ 学歴・取得学位

2018(平成 30)年 3 月	九州大学文学部人文学科卒業 学士(文学)
2020(令和 2)年 3 月	九州大学大学院人間環境学府修士課程修了 修士(文学)
2020(令和 2)年 4 月	九州大学大学院人間環境学府博士後期課程

■ 主な職歴

2022(令和 4)年 4 月	嬉野医療センター附属看護学校 非常勤講師(2025年3月まで)
2022(令和 4)年 9 月	福岡県立大学 非常勤講師(2023年3月まで)
2023(令和 5)年 4 月	麻生看護大学校 非常勤講師(2025年3月まで)
2024(令和 6)年 9 月	中村学園大学短期大学部 非常勤講師(2025年3月まで)
2024(令和 6)年 4 月	九州国際大学 法学部 助教(現在に至る)

教 育 活 動

■ 主な担当授業科目

○ 学 部 : 社会学、アカデミックスキル(思考、表現、情報リテラシーと調査)、社会実習、リスクマネジメント実習 2、入門セミナー、キャリアチュートリアル 1
○ 大学院 :

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材 : 『入門・社会学——現代的課題との関わりで』(共著、2023年、学文社)
○ 教育活動 :
○ 免許・資格 : 専門社会調査士(第 A-000726 号)

研 究 活 動

■ 研究分野

研究分野	社会学(地域社会学、福祉社会学)
主な研究テーマ	大学移転と跡地開発にともなう地域変動とまちづくり

	活動
キーワード	まちづくり、開発と地域、都市再開発、地域福祉、ボランティア

■ 主な著書・論文等

著書
○ 『シリーズ生活構造の社会学② 社会の変容と暮らしの再生』（共著）学文社、2022 年（日本社会分析学会監修，室井研二・山下亜紀子編） ○ 『入門・社会学——現代的課題との関わりで』（共著）学文社、2023 年（山本努・吉武由彩編）
論文
○ 「大学跡地開発に対する地元建築家によるまちづくり活動とその『転換』——九州大学箱崎キャンパス跡地開発を事例に」『地域社会学会年報』36:102-116. (2024 年，単著) ○ 「九州地方の人口移動と出生行動——『子縁コミュニティ』の研究に向けて」『共生社会学』13: 75-86. (2024 年，共著，研究ノート) ○ 「都市の子育てサポートネットワークに関する分析——福岡市城南区における乳幼児検診調査の結果から」『共生社会学』12: 61-74. (2023 年，単著) ○ 「コロナ禍における『箱崎・博物館フィールドワーク体験』の成果と可能性」九州大学基幹教育院『基幹教育紀要』9: 1-17. (2023 年，共著) ○ 「地域における生活支援と潜在的な支援ニーズの掘り起こし」『地域社会学会ジャーナル』9: 11-14. (2023 年，単著) ○ 「地域空間の変動から生まれるまちづくり活動と『地域らしさ』——九州大学箱崎キャンパス跡地と大学博物館をめぐる活動から」『社会分析』49: 81-96. (2022 年，単著) ○ 「介護系 NPO におけるボランティアの参加構造に関する分析——全国の介護系 NPO 団体への調査票調査から」『共生社会学』11: 35-49. (2021 年，共著) ○ 「地方都市高齢者の地域生活支援に関する一考察——山口県光市 M 地区の事例から」『共生社会学』10: 77-91. (2020 年，共著) ○ 「介護職の仕事満足度と離職理由および賃金格差に関する要因分析——ある自治体における介護職への試行的調査データの多変量解析から」『共生社会学』10: 29-44. (2020 年，共著) ○ 「熊本地震における高齢者介護福祉施設への外部からの支援の実態と課題」『共生社会学』9: 125-137. (2019 年，共著) ○ 「大学移転にともなう地域変容と地域住民の不安——九州大学箱崎キャンパス移転の事例から」『共生社会学』9: 65-77. (2019 年，単著)
学会発表
○ 「かつての大学町・箱崎の地域変容とまちづくり」（九州大学法文学部創立 100 周年記念シンポジウム「移動する大学—九州大学と〈まち〉のいま・むかし・これから—」，2024 年 12 月，九州大学） ○ 「大学移転にともなう跡地開発とまちづくり活動——九州大学箱崎キャンパス跡地を事例として」（地域社会学会第 48 回大会，駒澤大学，2023 年 5 月，単独） ○ 「『跡地のまちづくり活動』は何を目指すのか——大学跡地に対する地域の活動の意義と可能性」（第 80 回西日本社会学会大会，2022 年 5 月，神戸学院大学・オンライン開催，単独） ○ 「介護系 NPO におけるボランティアの参加構造——NPO 団体・ボランティア活動者双方への調査から」（第 94 回日本社会学会大会，2021 年 11 月，東京都立大学・オンライン開催，共同） ○ 「個人化社会におけるまちづくり活動と地域への意味づけ」（日本社会分析学会第 141 回例会，2021 年 7 月，広島大学，単独） ○ 「福祉 NPO におけるボランティアの参加構造」（第 79 回西日本社会学会大会，2021 年 5 月，中村学園大学・オンライン開催，共同）

○ 「まちづくり活動の今日的展開に関する考察——福岡市東区箱崎地域の事例から」(第138回日本社会分析学会例会, 2019年12月, 鹿児島女子短期大学, 単独)
○ 「熊本地震における社会福祉法人による社会福祉法人への支援の実態と課題——熊本県福岡県老人福祉施設協議会加盟の全施設へのアンケート調査から」(第92回日本社会学会大会, 2019年10月, 東京女子大学, 共同)
○ 「熊本地震における高齢者介護福祉施設への外部からの支援に関する分析」(西日本社会学会第77回大会, 2019年5月, 佐賀大学, 共同)
○ 「都市空間の再編成と住民参加——跡地利用をめぐる議事録の分析」(西日本社会学会第77回大会, 2019年5月, 佐賀大学, 単独)
○ 「大学移転後の地域変容と地域住民——九州大学箱崎キャンパス移転を事例に」(第136回日本社会分析学会例会, 2018年12月, 福岡県立大学, 単独)
その他
○ 書評「神戸学院大学現代社会学会監修, 山本努・岡崎宏樹編『現代社会の探求—理論と実践』『西日本社会学会年報』23(2025年)

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

西日本社会学会、日本社会分析学会、日本社会学会、地域社会学会、日本都市社会学会、福祉社会学会
--

■ 受賞等

()年 月	
--------	--

■ 研究助成金による研究

○ 科学研究費補助金 基盤研究(C)「地方都市の「成長戦略」をめぐる地域社会学—九州における再開発事例の実証研究」(研究代表者) 課題番号: 25K00187 2025年度～
○ 科学研究費補助金 基盤研究(C)「育児支援ネットワークの地域特性と「子縁」のコミュニティの創発性に関する研究」(研究分担者) 課題番号: 23K01794 2024年度～

社会における活動等

○ 九州大学ステークホルダー調査(KU-SHS)アドバイザー(2024年～現在に至る)
○ 西日本社会学会事務局長(2022年5月～2024年5月)
○ 熊本市 避難行動要支援者個別避難計画作成に関するモデル事業:「災害時の避難行動に関するアンケート調査」担当(2023年6月～2024年3月)
○ 文化庁 令和6年度文化振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業「地域共創協学デジタル化事業」実行委員(2024年4月～2025年3月)
○ 文化庁 令和5年度文化振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業「地域共創協学デジタル化基盤整備事業」実行委員(2023年4月～2024年3月)
○ 文化庁令和3年度文化芸術振興費補助金「地域と共働した博物館創造活動支援事業」「街づくりを先導するユニークベニューとしての大学博物館を核とした地域共創協学のミュージアム活動基盤整備事業」実行委員(2021年4

月～2022 年 12 月)

- 厚生労働省令和 2 年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「介護予防・日常生活支援総合事業に於けるボランティアの参画に関する調査研究事業」専門委員会・委員 (2020 年 7 月～2021 年 3 月)

大学運営活動等

- 教務委員 2024 年 4 月～現在に至る
- 法学部 FM 実行委員 2024 年 4 月～現在に至る
- 法学部親和会幹事 2024 年 4 月～現在に至る
- 基本構想プロジェクト会議 2024 年 12 月～2025 年 2 月
- 法学部 PASS 委員 (アカデミックスキル主任) 2025 年 4 月～現在に至る